

たしろかおる参議院議員 参議院本会議で代表質問！

10月2日、第187回臨時国会の参議院本会議において、たしろかおる参議院議員が、安倍首相の所信表明演説に対する代表質問を行いました。

主な質問内容は、①7月1日の集団的自衛権行使容認の閣議決定について、②御嶽山の噴火にみられる予知不能の火山地帯にある原発再稼働について、③外交方針について、④総理のヘイトスピーチに対する考え方と閣僚の言動について、⑤女性の

非正規雇用・賃金格差対策について、⑥在沖縄米軍再編における沖縄



集団的自衛権、
原発再稼働、
ヘイトスピーチ、
沖縄米軍基地などについて主張！

の「民意」についてです。
JR東海労は、JR総連の仲間と共に、本会議の傍聴の取り組みに参加しました。私たちは、今後も安倍政権の暴走を許さず、平和・人権・民主主義を守るために、たしろかおる議員と共に闘っていきます。

国会論戦の詳報

参議院
代表質問
政府答弁

2日行われた参院代表質問と答弁の詳報は次の通り。

田城 郁氏
(民主・新緑風会)

差別を扇動するヘイトスピーチ(憎悪表現)を野放しにする政府の姿勢は疑問だ。問題視される団体と閣僚との不明瞭な関係に厳しい目が注がれている。ヘイトスピーチを行う団体に對し、具体的にどう対応するのか。

米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の名護市辺野古移設は直近の名護市長選、名護市議選で反対の明確な民意が示された。政府は民意を無視した工事を進めている。



10月3日『静岡新聞』より抜粋

安倍晋三首相
【米軍普天間飛行場】
移設に必要な名護市辺野古沖の埋め立て申請は(県知事に)昨年未承認された。法治国家として関係法令にのっとり既に判断が示された。(田城郁氏への答弁)
【ヘイトスピーチ】
一部の国や民族を排除しようとする言動は極めて残念で、あつてはならない。規制は個々の状況を検討する必要があり、一概に言うのは困難だ。(田城氏への答弁)